

# ネットワーク活動報告



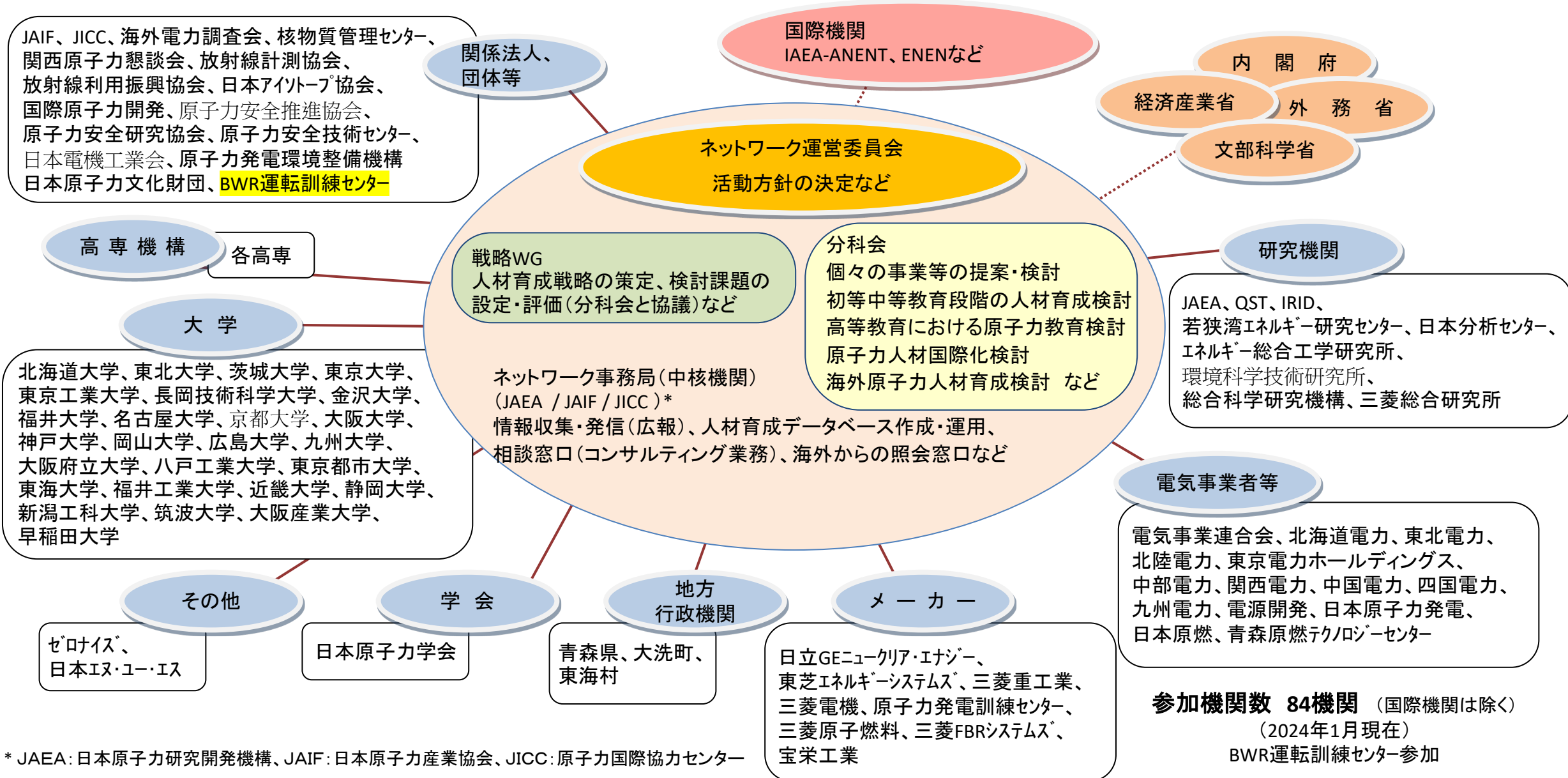
産学官連携

原子力人材育成ネットワーク

Nuclear Human Resource Development Network

原子力人材育成ネットワーク 事務局

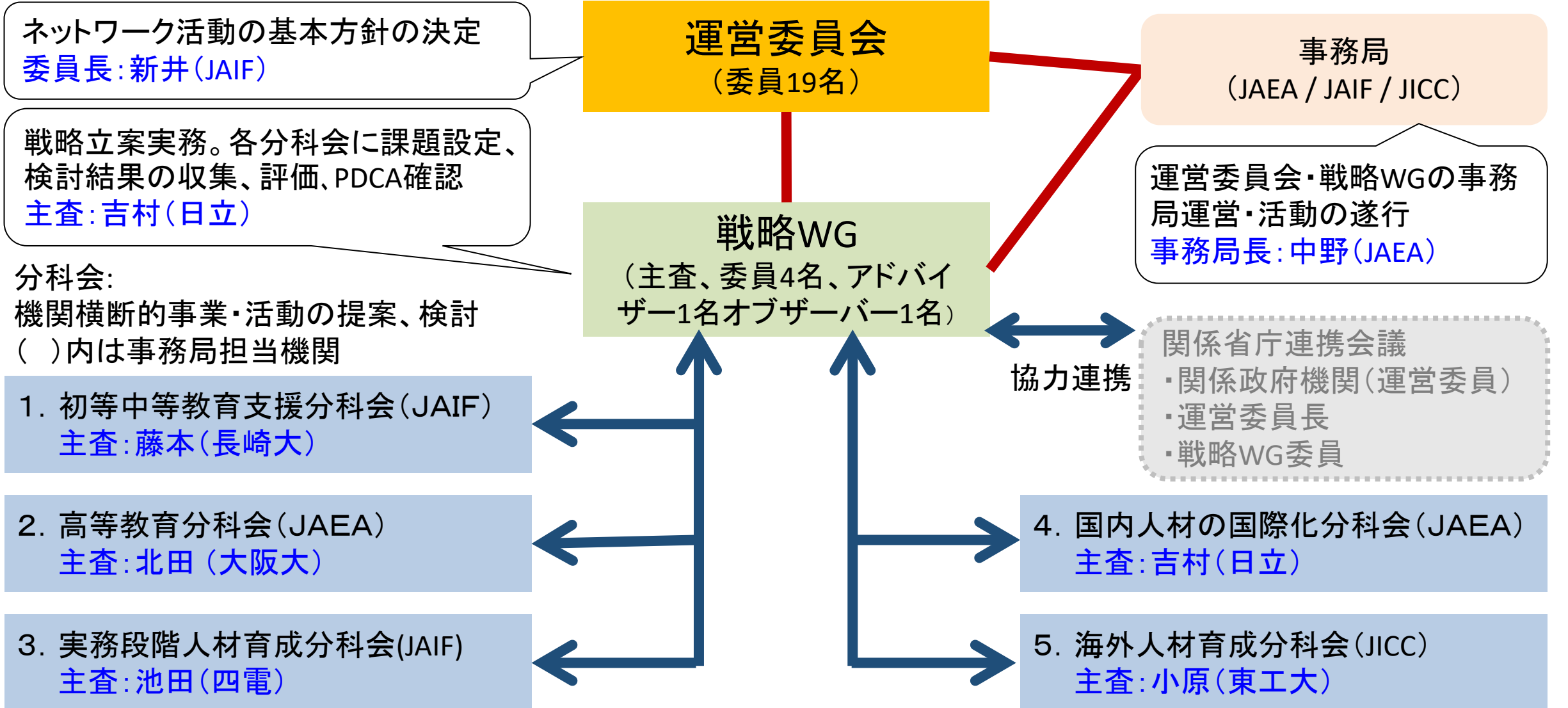
# 原子力人材育成ネットワーク参加機関



**参加機関数 84機関** (国際機関は除く)  
(2024年1月現在)  
BWR運転訓練センター参加

\* JAEA: 日本原子力研究開発機構、JAIF: 日本原子力産業協会、JICC: 原子力国際協力センター

# 原子力人材育成ネットワークの体制



# 運営委員会委員名簿

## (大学等)

宇埜 正美	福井大学 附属国際原子力工学研究所 教授・所長
河原林 順	東京都市大学 理工学部原子力安全工学科・大学院総合理工学研究科共同原子力専攻 教授
國枝 佳明	(独)国立高等専門学校機構 理事
黒崎 健	京都大学 複合原子力科学研究所 教授
小林 能直	東京工業大学 科学技術創成研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 教授
長谷川 秀一	東京大学大学院 工学系研究科 原子力専攻原子力リノベーション講座 教授

## (電力関係)

大屋 雅巳	東京電力ホールディングス(株) 原子力・立地本部 原子力人財育成センター 所長
尾仲 直也	関西電力(株) 原子力事業本部 副事業本部長
名倉 孝訓	中部電力(株) 原子力本部 原子力部長

## (メーカー関係)

薄井 秀和	東芝エネルギーシステムズ(株) 取締役 原子力技師長
加藤 顕彦	三菱重工業(株) 原子力セグメント セグメント長
武原 秀俊	(株)日立製作所 原子力ビジネスユニット 技監

## (その他の関係機関)

新井 史朗	(一社)日本原子力産業協会 理事長
大井川 宏之	(国研)日本原子力研究開発機構 理事
櫻本 宏	(公財)若狭湾エネルギー研究センター 理事長

## (国)

久米 孝	経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 部長
徳増 伸二	内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官
林 孝浩	文部科学省 大臣官房審議官(研究開発局担当)
林 美都子	外務省 軍縮不拡散・科学部 審議官

(敬称略:五十音順)

# 活動報告

## 令和5年度の活動

### 初等中等教育支援分科会見学会



QST、JAEA、千代田テクノルなどを見学し、最先端の研究をめぐる情勢や人材育成等に関する知見を得る機会となった

#### ●見えてきた課題

教育現場のニーズ把握の重要性

→ 中学・高校教員へのリンケージ機会の創出

### エネルギー環境教育学会(鹿児島大会)



授業で使える放射線教育教材等を紹介し、エネルギーを学べるポートゲーム等が関心を集めた

手始めに取り組むべき課題

→ 関連する教育系学会への参加、展示等への協力

## 令和5年度の代表的な活動

### 学生施設見学会

令和5年9月11日(月)～12日(火)

- 39名参加
- 東京電力 福島第一原子力発電所
- JAEA 福島研究開発部門
- 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 他

令和6年3月7日(木)

- ITER機構(バーチャル)

令和6年3月11日(月)

- 東芝エネルギーシステムズ株式会社
- 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構



福島第一原子力発電所



中間貯蔵施設

### ダイバーシティ推進活動

ダイバーシティ推進ウェビナー

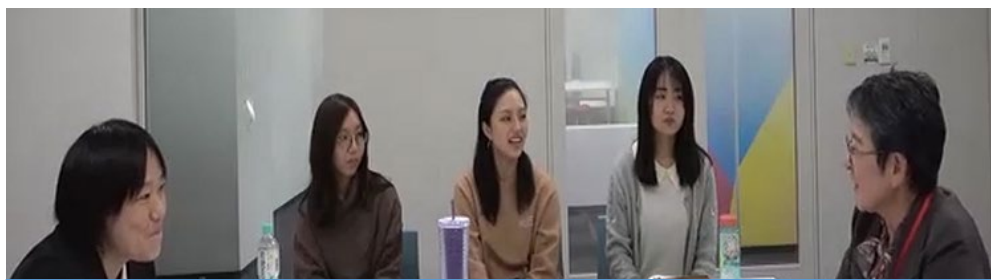
- 3回実施
- 世界と比べた日本のジェンダーギャップ、シニア世代の働き方、子育て奮闘記、会社の取組、大学の取組等

女子学生との対談

- 岡田内閣府原子力委員と大学院生の対談
- 今年度新しく実施

原子力学会春の年会企画セッション

- 原子力学会ダイバーシティ推進委員会と連携



芝浦工業大学の学生と岡田原子力委員対談

産学官の連携、学生、女性、シニア、様々な方々のネットワーク構築を通じて、高等教育を支援

## 令和5年度の代表的な活動

### 伊方発電所・原子力保安研修所の見学



実際の技術者育成の現場である伊方発電所と原子力保安研修所を訪問し、安全対策工事の実施状況や社員教育の状況の説明を頂くことで人材育成に関する理解を深めた。

### 高等教育との連携促進

#### 高等教育分科会との意見交換会

PowerPoint スライドショー - 原産協会の人材確保支援活動2.pptx - PowerPoint

### 人材確保・育成

#### 原子力産業界の人材確保支援 (2) 原子力産業の魅力リアルに伝える 原子力産業に特化した合同企業説明会

##### 3) 合同企業説明会「原子力産業セミナー2025～エネルギー未来フォーラム」

- 原産協会は、原子力産業界の人材確保支援と原子力産業への理解促進のため、2006年度以来、合同企業説明会「原子力産業セミナー」を開催している。今年度は10月に東京と大阪で開催した
- 学生・企業とも来場して参加するだけでなく、Web経由でも参加可能
- 今年度は出展企業85社(前年比9社増)と、学生430人(東京283、大阪147：昨年度473人)の参加を得た
- 来場学生は約8割が理系で、専攻は、原子力・放射線・エネルギー系35%、機械系11%、数学・物理系9%、化学系7%、電気電子系4%、文系23%など。

「原子力産業セミナー」の推移

開催年	東京	大阪	合計
2006	200	240	440
2007	525	755	1280
2008	361	60	421
2009	116	85	201
2010	53	60	113
2011	37	47	84
2012	59	55	114
2013	442	283	725
2014	339	337	676
2015	388	420	808
2016	393	337	730
2017	149	138	287
2018	149	124	273
2019	255	193	448
2020	115	115	230
2021	246	202	448
2022	439	176	615
2023	473	215	688
2024	430	147	577
2025	283	147	430

対面とWEBのハイブリッド形式で開催  
会場に来られない学生もオンラインで参加

スライド 6/11

原子力分野におけるインターンシップ・人材確保の活動、ジョブ型採用と人材の流動化といったテーマで4件の事例の紹介を行い、各組織の人材確保の取組状況を共有することができた。



## 令和5年度の代表的な活動

### 原子力国際人材養成コース



集合写真



外国人による講義の様子

- 対面・リモートのカリキュラム
- 総合評価 4.58(5点満点)
- 若手13名に対し、原子力分野についての理解を深め、直面する課題を共有する場を提供、グローバルな感覚の疑似体験を提供
- 女性メンター2名が新たに参加

### 国際化応援ウェビナー

#### 国際機関との交流ウェビナー

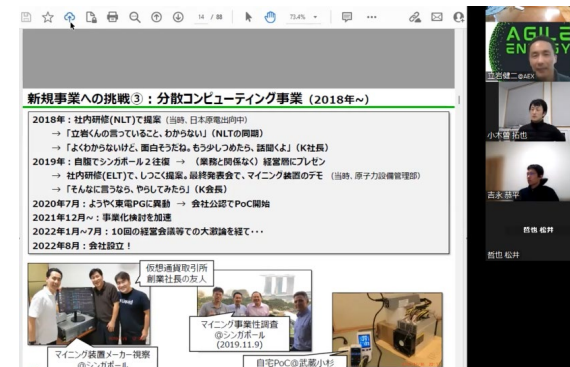
- 2回実施

#### 卒業生対象ウェビナー

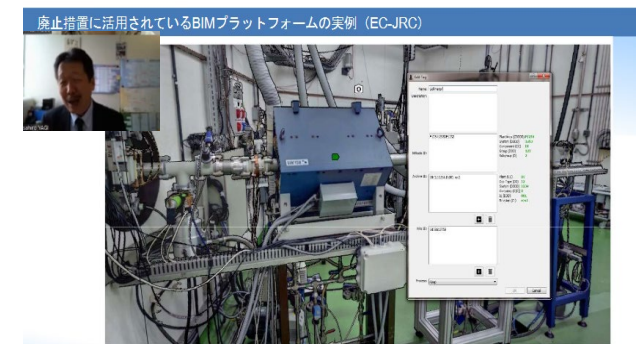
- 原子力国際人材養成コース会場から配信
- 国際研修参加者、若手等が参加

#### 専門分野別ウェビナー

- デジタルツイン
- 過去最高の141名参加
- 参加者全員が満足と回答(とても満足、満足、やや満足)



若手とのウェビナー



専門分野ウェビナー

## 令和5年度の代表的な活動

### 分科会の実施

- 7月4日 第1回 分科会（オンライン）
  - IAEA訓練コースの準備状況について
  - 各機関の活動状況
- 12月21日 第2回 分科会（対面）
  - IAEA原子力基盤整備訓練コースに関する支援国(ドナー国)会議参加報告
  - 各機関の活動状況
- 2月16日 第3回 分科会（対面）
  - 2023年IAEA原子力発電基盤整備関連訓練コース実施報告
  - 各機関の活動状況



### IAEA原子力基盤整備関連訓練コースの実施

#### ■ IAEA 原子力発電基盤整備関連の2つの訓練コース

##### ➤ Industrial Involvement訓練コース

- 10月9～13日
- このコースでは原子力発電新規導入（あるいは導入を検討している）国の政府推進機関、（将来）発電事業者の職員にIndustrial involvement（原子力発電設備の国産化）に関する知識・手法を提供
- 13か国（エストニア、ガーナ、カザフスタン、ケニア、モンゴル、モロッコ、ナイジェリア、フィリピン、タイ、チュニジア、ウガンダ、ウズベキスタン、ザンビア）から16名

##### ➤ Systematic Approach to Training (SAT)訓練コース

- 10月30日～11月3日
- このコースでは原子力発電新規導入（あるいは導入を検討している）国及び原子力発電拡大国の政府機関、（将来）発電事業者の職員に人材育成のための訓練を合理的に行うための手法を提供
- 14か国（アルゼンチン、ブラジル、ブルガリア、エジプト、ガーナ、ハンガリ、イラン、ケニア、ナイジェリア、パキスタン、ポーランド、ルーマニア、サウジアラビア、トルコ）から19名

#### ■ Japan-IAEA NEMスクール

- 国際化分科会と共催
- 8月22日～9月8日



## 令和5年度の代表的な活動

会議の実施、ホームページ管理、IAEA技術研修員受入事業サポート

### JAPAN-IAEA 原子力エネルギーマネジメントスクール開催



参加者によるスクールの評価（5点満点）  
各国NEMS共通のアンケートを実施

総合評価：4.8

質問項目	評価
スクールの技術的内容	4.7
講義資料等の質	4.4
開催期間(3週間;14日間)	4.8
参加の具体的な目標は達成できたか	4.6
講義は組織のニーズとリンクしていたか	4.7
講義は現実に即した内容でしたか	4.7
バーチャル/ハイブリッド開催について	3.6
スクールの運営	4.8

【開催日】令和5年8月22日(火)～9月8日(金)

※日本では、2012年から毎年開催(11回目、2021年を除く)

【参加者】14カ国29名(うち女性13名)

【内容】

日本のエネルギー政策、安全文化、3S、緊急時対応、リーダーシップ、経済・環境問題、知識管理、1F事故の教訓、日本におけるSMR開発や非発電利用など、幅広い分野の講義、グループワーク及び原子力関連施設の視察等を実施

## 令和5年度の活動

### ●戦略WG会合の実施

#### <第1回>

日時：2023年10月26日(木) 13:30～15:30

開催方法：オンライン(Zoom)

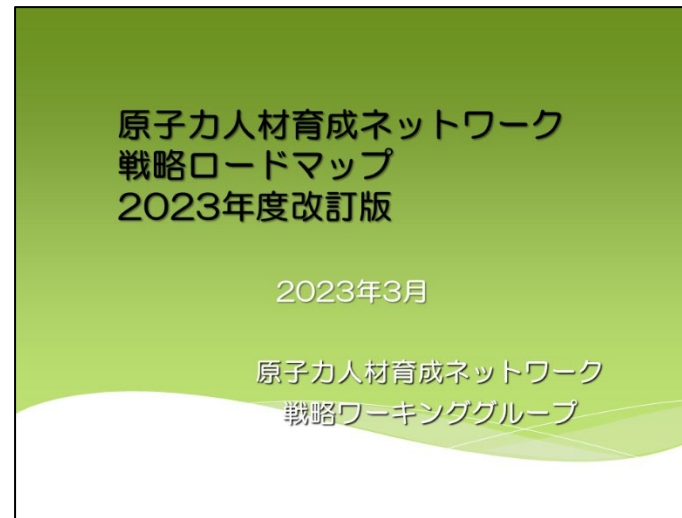
議事内容：①改訂版人材育成戦略ロードマップの  
ブラッシュアップについて  
②省庁との連携の進め方について

#### <第2回>

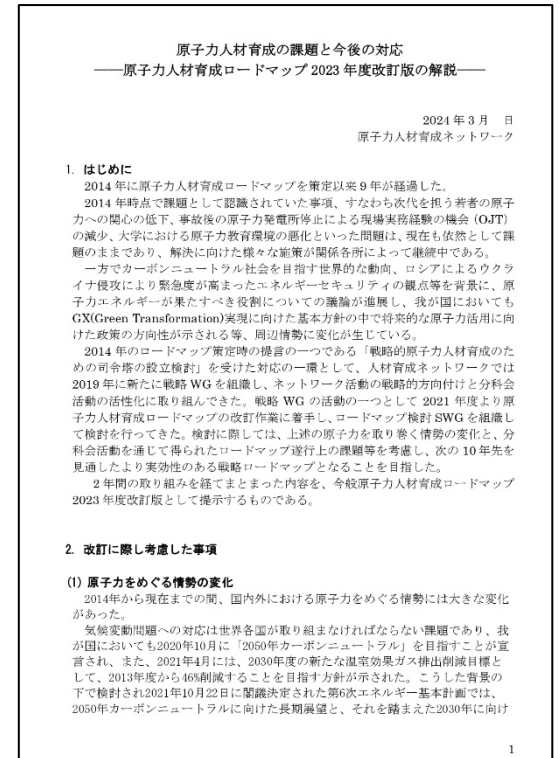
日時：2024年1月25日(木) 13:30～15:30

開催方法：対面＋オンライン(Zoom)

議事内容：原子力人材育成ロードマップ2023年度改訂版の解説文書について



人材育成ロードマップ改訂版



人材育成ロードマップ解説文書

### ●今後の対応

- ・原子力小委員会での紹介
- ・各分科会へのフィードバック

- ・運営委員会への報告
- ・関係省庁連携会議の開催